

【案2】 コンセプト:”収穫を楽しむ樹木”

クワの実や柿などみんなで収穫し、食べて楽しめる樹木を植える案です。

植樹エリア	20年後CG画像	使用樹種 ※括弧内は、花や紅葉の色	樹種選定理由	植樹本数
A；擁壁前		【落】カキノキ	<p><果実の収穫ができる樹種> カキノキ ※カキノキは子どもたちが木登りしないようルールづくりが必要</p> <p><地域に自生する樹種、関わりの深い樹種> 麻生区王禅寺の「禅寺丸柿」は日本最古の甘柿とされており、国の登録記念物にも指定されている。</p>	高木;1本
B；石碑奥		【低】ハクチョウゲ（白）	石碑周りに賑わいを持たせるため、壁側に沿って植栽するが、石碑の周囲を通行できるように空間を確保する。	低木;100株
C；ベンチ間 三角地		【落】クワ 【低】クチナシ（白）	<p><ベンチ間> 木陰を創出する（クワ） <三角地> 賑わいを持たせる（クチナシ） クチナシ：6～7月開花、10～12月に橙黄色の実</p> <p><地域に自生する樹種、関わりの深い樹種> クワは実や葉（お茶）を食べることができる。川崎市では古くから養蚕が行われていた。多摩区梶形に「養蚕の神」が祀られている。</p>	高木：3本 低木：3株

※植樹する本数等は、状況に応じて若干変更になる場合があります。

2 案目

